



高崎経済大学地域科学研究所

ニュースレター No.3

目次	地域科学研究所発足2年目を迎えて.....	(1)
	2016年度地域科学研究所事業のご案内.....	(2)
	新規研究プロジェクトスタート.....	(3)
	『富岡製糸場と群馬の蚕糸業』研究報告会.....	(5)
	地域科学研究所動静.....	(5)
	編集後記.....	(6)

地域科学研究所発足2年目を迎えて

地域科学研究所としての地域貢献

が始まります

所長 西野寿章

地域科学研究所にとっての初年度である2015年度は、大学の地域貢献の窓口として、どのような事業計画を立てるのかに大きなエネルギーが注ぎ込まれました。公立大学法人高崎経済大学の経営方針において、地域科学研究所は地域貢献の窓口として重点化することが決められています。公立大学である本学には地域貢献が求められ、大学はそれに応える必要があります。

大学の本来の使命は、学生の教育と質の高い教育を行うための研究にあります。しかし、市民の皆様を支えられている高崎経済大学は、教育・研究を基本に置きながら、様々な形で地域社会に貢献していく必要があると認識しております。

こうした認識は、古くから高崎経済大学の中で芽生えておりました。1977(昭和52)年に産業研究所が公開講座を開始したのは、その表れでした。また産業研究所では、長年にわたって公開講演会、公開シンポジウムを開催してきました。先輩の先生方が築いてこられた地域貢献

を基礎として、さらなる地域貢献を進めてまいります。

今年度から、従来の公開講座に、高崎経済大学連携公開講座、地域めぐり、地元学講座が加わります。

従来の公開講座は、10月から11月にかけて、平日の夜に開講しておりました。仕事やご家庭の関係から、聞きたくても参加できないという声も聞いておりました。そこで、高崎市中央公民館と連携して、6月から8月にかけて土曜日の午後に公開講座を開講するよういたしました。今年度は5回だけですが、受講生の皆様の評価をふまえ、回数を増やすことを検討してまいります。

新規事業の地域めぐりは、合併によって面積が4倍となった高崎市の市域にある様々な文化や歴史を本学教員が案内して、学んでいただくものです。そして地元学講座は、高崎市民の皆様が取り組まれている研究の成果を本学で発表いただくものです。来年度以降の地元学講座のテーマについては公募し、進めてまいりたいと考えております。

これらの新事業の内容は、ニュースレター、大学のホームページで随時お知らせいたします。ご一読いただき、多くの市民、県民の皆様方の参加をお待ちしております。

2016 年度地域科学研究所事業のご案内

◎連携公開講座

毎年秋に大学キャンパス内で実施している公開講座に加え、高崎市中央公民館を会場とする「高崎経済大学連携公開講座」を実施いたします。

特にテーマは定めず、地域科学研究所の所員が、自らの専門分野の最新の研究成果を講じます。

講義日	講師	講義テーマ
6/18 (土)	河藤 佳彦	地元産業が実現する 地方創生
6/25 (土)	増田 正	18 歳選挙権と選挙制 度改革
7/30 (土)	矢野 修一	インフレーションと デフレーション
8/ 6 (土)	西野 寿章	住民参加の電化物語 －戦前, 戦後における 山村電化史と今日的 評価
8/30 (土)	米本 清	地方都市の今後: 東京 一極集中は止まるか

時 間：13 時 30 分～15 時

場 所：高崎市中央公民館視聴覚集会室

受講料：無料

*すでに開講していますが、聴講ご希望の方は、地域科学研究所までお問い合わせください。

◎第 1 回地域めぐり「高崎市の水を知る」

身近にありながら市民が知らない、地域の歴史、現状そして未来について、現地見学を交えて学習する「地域めぐり」を行います。

日 程：2016 年 7 月 26 日 (火)

9 時 30 分～16 時

講 師：西野寿章地域科学研究所長
(地域政策学部教授)

コース：大学－若田浄水場一道の駅「くらぶち小栗の里」－はまゆう山荘－倉淵ダム建設予定地・クラインガルテン《車中見学》－東善寺－大学

※はまゆう山荘では、高崎市の水源地についての説明を受け、山荘周辺の森を見学します。東善寺では、小栗上野介の墓所に参拝します。

対 象：18 歳以上の高崎市在住・在勤の方

参加費：1,200 円

*申込みは締め切りしました。

11 月に、第 2 回地域めぐりとして食品リサイクル事業「すまいるーぷ」をめぐるツアーを予定しています。詳細は、高崎経済大学のホームページや高崎市の広報でご案内します。

◎第 1 回地元学講座

「長野堰の開削と高崎城下の成立」

「地元学講座」は、市民の皆様が関心を持っておられる高崎市の歴史や民俗、現状の問題や課題などを市民の皆様と本学の教員、学生がともに考えていく催しです。

今年度は、2 回にわたり、長野堰の歴史や謎を研究されている上並榎町の「長野堰を語りつぐ会」の皆様が日頃の研究成果を語っていただき、高崎の水と街の成立を考えます。当日は、長野堰を語りつぐ会の皆様が作成された、長野堰が潤す高崎城下の精密なジオラマ(次ページ写真)が展示されます。

テーマ：長野堰の開削と高崎城下の成立

日 時：2016 年 7 月 27 日 (水)

18 時 30 分～20 時

場 所：高崎経済大学 7 号館 2 階

72A・B 会議室

研究発表：長野堰を語りつぐ会

コーディネーター：

大島登志彦地域科学研究所員

(経済学部教授)

対象：18歳以上の高崎市在住・在勤・
在学の方

定員：70人

参加費：無料

*事前の申込みは不要です。直接会場にお越しください。

<長野堰を語りつぐ会作成のジオラマ>



<本学の近くを流れる長野堰>



写真：西野寿章（2016.6撮影）

長野堰が

「世界かんがい施設遺産」国内候補に

長野堰が、国際かんがい排水委員会（ICID）日本国内委員会により、「世界かんがい施設遺産」国内候補施設の一つに選ばれました。（2016.5.18）

「世界かんがい施設遺産」とは、かんがいの歴史・発展を明らかにし、理解醸成を図るとともに、かんがい施設の適切な保全に資するために、歴史的なかんがい施設を国際かんがい排水委員会が認定・登録する制度であり、平成26年に創設されました。登録により、かんがい施設の持続的な活用・保全方法の蓄積、研究者・一般市民への教育機会の提供、かんがい施設の維持管理に関する意識向上に寄与するとともに、かんがい施設を核とした地域づくりに活用されることが期待されています。

－農林水産省ウェブサイトより

日本国内に13施設あり、群馬県内では、2014年に甘楽町の雄川堰（おがわぜき）が登録されています。

新規研究プロジェクトスタート

今年度から、新たに2つの研究プロジェクトがスタートしました。

◎「空家特別措置法施行後の空家対策に関する総合的研究」

2016（平成28）年度地域科学研究所研究プロジェクトとして、「空家特別措置法施行後の空家対策に関する総合的研究」に3年間取り組むことになりました。

2013（平成25）年の住宅・土地統計調査によると、全国の空家は、1958年の36万戸から2013年には820万戸になり、この55年間で約23倍に膨れ上がりました。この中には、適正に管理されずに放置され、防災、衛生、景観等の住環境に悪影響を及ぼすものが少なく

なく、放置された空家を適正に管理することは地域の健全な発展を実現する上で喫緊の課題といえます。そこで、適正に管理されていない空家に関しては、空家等対策の推進に関する特別措置法（以下、空家特措法と略す。）が2016年5月に完全施行され、法環境の整備が進められています。自治体の取り組み状況は、空家特措法の施行を待たずに条例を制定したり、空家の改修・解体等に補助制度を設定するなど、自治体ごとに異なっています。また、空家特措法には代執行制度が規定されていますが、それ以前に、空家問題の解決には、空家化の予防、空家の流通・活用、空家に関する跡地利用等の施策が考えられ、不動産、建築、法務、金融等、それぞれの専門知識を有する民間団体、シルバー人材センター、NPO 団体、自治会等の地域組織、さらには、ボランティア、学生等が連動・協働しながら地域が丸になって、かかる問題に取り組むことが期待されます。

こうした空家問題は、さまざまな専門分野において議論され、知見の深化が図られていますが、各専門分野で得られた貴重な知見が、他の専門分野で共有されるケースはきわめて少なく、それぞれの独立した専門分野でのみ、議論されています。そもそも空家問題とは、土地建物にかかわるステークホルダーが、かかる問題に対して複合的に関与しているものであり、法学、公共政策、都市計画、地理学、市民活動、経営学、実務家等、分野横断的かつ多角的に分析することは有効です。空家の発生メカニズムや空家化の予防等、解明すべき課題が山積しているにもかかわらず、未だ有効な対策が確立できない現状に鑑みて、各専門分野で得られた知見を、さまざまな分野から角度を変えてとらえることは、空家問題の解決に向けた重要な試みであるといえます。

そこで、本研究では、空家特措法が施行された後の自治体対応を調査・分析するとともに、

法環境では解決できない空家については、公共政策、不動産市場、まちづくり、市民・NPOとの協働等の視点から調査・分析し、分野横断的な空家対策の新たな知見を切り開いていくことにします。研究初年度は、研究プロジェクトメンバーが共有すべき知見を得るため、①国内外の文献研究、②空家対策に詳しい専門家を招聘し、講演会および意見交換会の実施、③空家対策に取り組んでいる自治体への聞き取り調査をそれぞれ予定しています。研究2年目は、研究プロジェクトメンバーの専門性を活かし、多様な視点から空家・空地問題を調査・分析します。得られた知見において、誤謬や齟齬の有無を確認するため、空家対策に取り組んでいる自治体への現地調査を実施します。研究3年目は、研究2年目に個別研究で得られた成果を広く公表（学会発表、論文投稿、報告書の執筆等）します。最終的には、これらの成果を集約し、分野横断的かつ総合的な空家対策の立案を目指し、今後の空家対策に貢献できる学術書を刊行する予定です。

【研究プロジェクトメンバー】

岩崎忠（本学地域政策学部准教授）、佐藤公俊（同教授）、佐藤英人（同准教授）、八木橋慶一（同准教授）、大澤昭彦（同准教授）、若林隆久（同専任講師）、帖佐直美（流山市政策法務室長・弁護士）、鈴木智（高崎市都市計画課主任主事）

プロジェクト代表者 岩崎 忠所員

◎「富岡製糸場と群馬の蚕糸業Ⅱ」

2015年度、地域科学研究所では、研究所の発足を記念して、『富岡製糸場と群馬の蚕糸業』の研究プロジェクトをスタート、2016年3月に、日本経済評論社から成果をまとめた書籍を刊行したほか、本学で研究報告会（次ページ参照）を行い、70人あまりの市民にご聴講をいただきました。

富岡製糸場繰糸場（撮影 佐滝剛弘）



研究所ではこの成果をさらに進めて、16～17年度の2年間で、「戦後の群馬県の蚕糸業の動向分析および絹遺産の地域振興への活用策に関する研究」へとプロジェクトを発展的に継続することとなりました。

戦後期までを含めた広い視野から見た富岡製糸場の意義や群馬県の蚕糸業の足跡と今後への展望、さらには文化遺産の保存と継承のありようと地域の再生をどう結び付けるのか？といった「産業遺産・世界遺産のありよう」にまで研究の幅を広げ、地域経済の再生につながる提言を行っていきたいと考えています。

研究成果は、2018年3月頃に、書籍として刊行の予定です。

【研究プロジェクトメンバー】

佐滝剛弘（地域科学研究所特命教授）、大島登志彦（本学経済学部教授）、高木賢（公立大学法人高崎経済大学理事長・前大日本蚕糸会会頭）、西野寿章（本学地域政策学部教授）、村山元展（同教授・副学長）

プロジェクト代表者 佐滝剛弘特命教授

* * * *

『富岡製糸場と群馬の蚕糸業』研究報告会

地域科学研究所発足プロジェクト『富岡製糸場と群馬の蚕糸業』発刊に併せ、執筆者のうち11名による研究報告会を3月26日（土）に本学6号館621教室を会場に開催しました。

当日は、午前10時から午後4時までという1日かかりのプログラムにもかかわらず、約70名の方が、各講師の報告に熱心に耳を傾けました。質疑応答も活発に行われ、ご参加の方から好評を得ました。



地域科学研究所動静

- ・2016年5月末現在、地域科学研究所の所員は50名、名誉研究員1名、特定研究員3名となっています。永田瞬研究委員長が2016年度国内研究のため、後任として八木橋慶一所員（地域政策学部准教授）が研究委員長に就任しました。
- ・新規プロジェクトの欄でも紹介されているように、本研究所の発足プロジェクト「富岡製糸場と群馬の蚕糸業」を今年度から2年間継続することになりました。このプロジェクトを担当するため、佐滝剛弘特命教授が着任しました。

- ・6月3日、長田貴仁岡山商科大学教授を講師に迎え、今年度の第1回公開講演会「『小粒な』地方創生に死角はないか」を開催しました。
- ・高崎市中央公民館を会場に土曜の午後に開催する「連携公開講座」が、6月18日に開講しました。8月20日まで、5回にわたって開催します。

編集後記

地域科学研究所2年目がスタートしました。西野所長の挨拶にありますように、1年のいわば「準備期間」を経て、今年度からさまざまな事業に本格的に取り組めます。「地域科学研究所」という名称が示すように、本学が置かれ、また支えていただいている「地域」を見つめ直すとともに、さらなる発展に貢献できるよう歩んでいきたいと考えています。

このニュースレターでは、すでに始まった、あるいは近日中に開催する講座をご紹介します。秋には、学内で開催する公開講座をはじめ、第2回地域めぐり、地元学講座、公開講演会を予定しています。随時本学のホームページや「広報高崎」でご案内します。どうぞご期待ください。(KA)

高崎経済大学地域科学研究所

ニュースレター No.3

発行 2016年6月30日

群馬県高崎市上並榎町 1300(〒370-0801)

TEL(027)344-6267 FAX(027)343-7103

E-mail : chiikikagaku@tcue.ac.jp

©TIRS